

長崎市こども相談センターだより 第1号

和顔愛語【穏やかな笑顔と思いやりのある
(わげんあいご) 話し方で人に接すること】

令和6年5月発行



長崎市魚の町4番1号(こどもみらい課内 電話: 825-1949)
こども相談センター相談専用ダイヤル: 829-1122
Eメール kodomosoudan_center@city.nagasaki.lg.jp

愛の一声運動

長崎市少年センターは、令和6年4月から
「長崎市こども相談センター」に名称が変わりました。



「長崎市こども相談センター」発足にあたって

長崎市こども相談センター 所長 川口邦春

「順番を変えると、どうなるのかな・・・。」そう思うようになってきました。大人の思いが、すべての子どもたちへ届いているのでしょうか。大人は、子どもたちを支えたいと思い、施し続けています。しかし、その施しは、子どもたちが欲しがっているものなのでしょうか。そう考えると、子どもたちの心の声を聴きたくになります。「どうして欲しいの？」

子どもたちの心に寄り添い、すべての子どもたちが健やかに育つことを願って、「少年センター」は「こども相談センター」に生まれ変わりました。子どもたちからの相談に対して、臨床心理士や社会福祉士などの専門スタッフが対応する相談窓口を設けました。主な対象は、小・中高生の子供たちです。さまざまな悩みや困りごとを抱える子どもたちからのあらゆる相談に耳を傾けたいと思います。聴くことから始めて、いかに施していけばよいのかを考えていくという、これまでと違った順番で対応していくシステムに変えていくことが、子どもたちにどのような影響を与えるのか、楽しみになってきました。

子どもたちのためにこれまで取り組んできた地道な活動は変わりません。178名の少年補導委員は「愛の一声」運動を実施し、引き続き、子どもたちの心に寄り添います。センター職員は、地域の方々のご協力をいただきながら、社会環境の浄化に努めます。不審者情報等を分析し、関係各所に「こども安全注意報」を発信します。子どもたちに寄り添うため、変えていかなければならないことと変えてはいけないことをそれぞれ大切にしながら、長崎市こども相談センターの運営にあたっていきたくと考えています。今後も当センターへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【少年補導委員の皆さまへ ～Eメールアドレス確認メールについて～】

アドレスを登録いただいた補導委員の皆さまにセンターの新しいメールアドレスから「こども相談センター(旧少年センター)から」というメールを4月11日に送信しています。既に多くの皆さまから確認の返信をいただいています。受信済でまだ返信されていない方は早めに返信をお願いします。また、登録したのにメールが届いていない場合は、迷惑メールに分類されている可能性があります。お手数をおかけしますが迷惑メールフォルダの確認をお願いします。それでも届いていない場合には一度、センターの新しいアドレスに「校区名と氏名」を明記したメールを送信いただくと確実に登録できます。ご協力をよろしくお願いいたします。



長崎市こども相談センター職員	
長崎市こども部長	山本 勉
長崎市こどもみらい課長	中野尚志
こども相談センター所長	川口邦春
〃 係長(兼任)	平尾和也
〃 主任指導主事	久田 裕
〃 指導主事	大川伸生
〃 臨床心理士	堀江雅子
〃 社会福祉士	一瀬美幸
〃 少年補導相談員	山鹿義弘
〃 少年補導相談員	松本直道

令和6年度長崎市少年補導委員協議会総会を終えて

長崎市少年補導委員協議会 新会長 野口保久

先日実施された長崎市少年補導委員辞令交付式において、令和6・7年度長崎市少年補導委員178名を代表して、鈴木史朗長崎市長より辞令書を受け取り、一層気を引き締めたところです。

また、10名の永年勤続表彰者と5名の長崎市教育委員会表彰者の皆さま、このたびの受賞、本当におめでとうございます。

令和6年度長崎市少年補導委員協議会総会において会長を拝命しました野口保久と申します。どうぞよろしく願いいたします。総会では25名の方々の退任者感謝状贈呈式も行われ、長きにわたり補導委員として活躍してこられた皆さまに対しまして感謝状をお渡ししたところです。これまでのご功績に深く感謝申し上げます。本当にお疲れ様でした。

さて、子どもを取り巻く環境が悪化していると言われて久しい昨今ですが、そんな中でも青少年の犯罪・非行件数は減少傾向が続いていました。

しかし、令和5年の長崎県警による県内の少年非行概況を見ると増加に転じてきているようです。大人である私たちが気を緩めると一気に増加していくのではないかと心配しています。そんな状況の中だからこそ「愛の一声」運動をこれからも皆さんと一緒に続けていきたいと思えます。会長という重責を引き受け、未来を担う子どもたちに対する私たちの取組が、社会全体の未来への投資であり、重要な役割だと改めて感じているところです。今後とも、長崎市少年補導委員協議会に対しまして、皆さま

まのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

会長	野口保久
副会長(東部)	内藤隆盛
副会長(南部)	稲田純子
副会長(西部)	藤田 実
副会長(北部)	徳山教恵
会計	池田安芸枝
監事	田川俊幸
監事	久松厚生
顧問	小崎修三

5月16日(木)	新任補導委員講習会
//	第2回三役会
5月23日(木)	第2回幹事会
6月上旬	地区別幹事会
7月下旬	みなとまつり特別補導
8月19日(月)	第3回三役会
8月26日(月)	第3回幹事会
10月上旬	おくんち特別補導
6月~10月	地区別・校区別研修会
11月14日(木)	第4回三役会
11月21日(木)	第4回幹事会
1月25日(土)	全体研修会
2月13日(木)	第5回三役会・常任幹事会
2月27日(木)	第5回幹事会
3月21日(金)	市補協監査会

辞令交付式、表彰式&市補協総会

4月20日(土)長崎市役所において、令和6年度長崎市少年補導委員辞令交付式、永年勤続者と市教委表彰者の表彰式が市議会副議長相川和彦様を来賓にお招きして実施されました。補導委員178名を代表して野口新会長が鈴木長崎市長から辞令書を受け取りました。10名の永年勤続表彰者には鈴木市長から、5名の市教委表彰者には橋田教育長から表彰状が手渡されました。表彰式終了後には、長崎市少年補導委員協議会総会が開催され、活動報告や予算、決算、新役員人事などを承認し、退任される方々に感謝状を贈呈しました。



補導報告の結果です「お疲れ様でした」

令和5年度もたくさんの補導委員の皆さまに街頭補導を実施していただきました。報告書の提出があったものだけで定期補導3,057名+特別補導370名、のべ3,427名の補導委員の皆さまが活動し5,947件(昨年比+1,363件)の子どもたちへの声かけが行われました。活動しているのに報告書を提出されていないケースもあるようですので、実際にはさらに多くの皆さまが子どもたちに「愛の一声」をかけていただいたものと思えます。

また、3月分の報告が新年度に入ってから届いたため処理できなかったケースも何件ありました。年度末となる3月分の報告は3/28必着を重ねてお願いします。

すでに、新しいメンバーで補導活動を実施し、4月分の報告を提出していただいている校区もあります。今後も補導活動の実施と報告書の提出をよろしくお願いいたします。

R5年度集計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
喫煙	0	0	4	0	4
交通違反	4	8	10	14	36
服装の乱れ	0	0	1	0	1
危険な遊び	5	1	5	4	15
外出時間注意	37	34	48	3	122
買い食い	0	0	15	0	15
ゲームセンター	30	22	61	11	124
男女交際	0	0	76	2	78
『愛の一声』	3772	1109	603	68	5552
合計	3848	1174	823	102	5947

※補導報告書様式を変更しています。報告の際には、新年度に配付した様式での報告をお願いします。リストから選択できるように改善したEXCEL形式の利用を推奨しています。